

## 片岡医院



### 院長からひとこと

患者さんは、常に弱い立場であるということを忘れずに、どんな時でも誠実な対応が出来ればと思います。



### 片岡医院

〒876-0037 大分県佐伯市大字長谷7728-1  
TEL 0972-24-1139  
診療科／内科一般 院長／片岡 一郎

## 連携医療機関の紹介

### 【医療機関の先生方・市民のみなさまへ】

当院は大正4年に祖父が当地に開院し、本年で110年目を迎えます。医家の歴史は安永年間(1770年代)にさかのぼり、以後変わらずこの地で医業を継承して参りました。現在は内科を中心に、高血圧症、糖尿病、脂質代謝異常などの生活習慣病の管理はもちろん、インフルエンザや、COVID19などの急性感染症、軽度の外傷や各種疾患の初期診療を行い、各種疾患の迅速な診断のために、血液検査結果が即時に判断できる検査機器も備え、専門的な医療が必要な際には、症状に応じて南海医療線センターをはじめとする専門医療機関へと連携する“つなぐ医療”を心がけています。また、24時間対応可能な体制を在宅療養支援病院・診療所と連携をとり、往診・訪問診療を含む在宅医療も実施。介護保険を利用した通所リハビリテーションも併設し、住み慣れた場所で安心して暮らせる支援を行っています。今後とも、地域に密着した「かかりつけ医」として、皆様の健康を支える医療を提供して行きたいと思います。



### 医療法人 養春堂 近藤医院

〒876-0125 大分県佐伯市弥生大字江良1052-3  
TEL 0972-46-0038  
診療科／内科・リハビリテーション科  
院長／近藤 宣如



### 院長からひとこと

「不安な時に傍にいてくれる存在」でありたいと願っています。体調の小さな変化や、健康に関するちょっとした疑問・不安を、気軽に、気兼ねなく相談できる。それが、私たちが目指す「かかりつけ医」の姿です。

medical care information

# なんかい



### 「夜間発災を想定した院内災害訓練を開催しました」

10月18日、「夜中に大地震!!」を想定して院内災害訓練を開催しました。

これまでの訓練は、マンパワーのある平日日勤帯を想定して繰り返し行つてきましたが、平日日勤帯は1日の約1/3、夜間帯および土日祝日の時間外は年間の約78%を占めており、その時間帯に発災する確率は必然的に高くなります。事実、2000年以降の最大震度6強以上の地震は21件中18件が夜間及び土曜休日に発生しており、阪神・淡路大震災や関東大震災も同様でした。今回は深夜の発災を想定し、当直医師、看護師、事務員そして警備スタッフにも参加して頂き、限られた人員による「初動対応」をテーマに、総勢54名で、発災直後の情報収集から状況判断、対応の優先順位づけまでをグループワーク形式で行いました。限られた人員の中で、どうすればより早く正確に院内の状況を把握し、患者さんと職員の安全を守れるのか…。参加者全員が真剣に議論し、有意義な訓練となりました。

南海トラフ地震の発生確率は「80%程度」から「60~90%程度以上」と見直され、発生時期の予測は困難ですが、「いつか」は必ずやってきます。今回の訓練を通じ、私たちは「その時」に備える体制をさらに強化してまいります。

### contents

- P1 災害訓練
- P2 診療科紹介 耳鼻咽喉科、新任医師紹介
- P3 市民公開講座、南海健康まつりご案内
- P4 連携医療機関紹介 片岡医院、近藤医院

2025.10  
vol.31



南海医療センター



〒876-0857 大分県佐伯市常盤西町7-8 <https://nankai.jcho.go.jp/>  
TEL 0972-22-0547(代表) FAX 0972-23-4083



## 診療科の紹介

### 耳鼻咽喉科

部長 粕井 愛美 医師 医員 橋本 鑿 医師

#### 地域に安心を届ける耳鼻咽喉科医療

当院耳鼻咽喉科は、耳・鼻・のど・頸部の幅広い症状に対応しています。耳の聞こえの低下、耳鳴り、めまい、鼻水や鼻づまり、のどの痛みや声のかすれなどの不調から、アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、扁桃炎などの良性疾患まで診療します。さらに、頸部腫瘍の原因精査や甲状腺癌、咽喉頭癌、唾液腺癌などの頭頸部領域の悪性疾患の診断にも対応し、必要に応じて連携病院と協力して治療を行っています。

2022年からは医師2名体制となり、外来・入院・手術の診療が充実しました。直近3年間で手術件数は約2.5倍に増加し、鼻手術(副鼻腔炎・アレルギー性鼻炎など)、扁桃摘出術、顎微鏡を用いた咽喉頭手術、頸部腫瘍摘出術を中心に実施しています。さらに外部から専門医を招聘し、耳下腺・頸下腺などの唾液腺や甲状腺などを含む頭頸部腫瘍や耳の高度な手術にも対応可能となり、市外に紹介していた症例も地元で治療できる体制を整えました。

また、睡眠時無呼吸症候群、味覚・嗅覚障害、嚥下障害、補聴器診療など専門的な診断・治療を要する疾患にも取り組んでいます。内視鏡や聴力検査機器を備え、的確な診断とわかりやすい説明、個々に合わせた治療を心がけています。

地域の補聴器認定技能者とも連携し、補聴器の適合や調整を協力して行い、快適な聞こえを支えています。さらに、嚥下内視鏡による診断や言語聴覚士とのリハビリも充実させ、耳鼻咽喉科の専門性を生かした包括的な診療を展開しています。

今後も「身近で頼れる耳鼻科」として、地域の皆さまの健康を支え続けてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

耳鼻咽喉科部長 粕井 愛美



## 新任医師紹介



佐伯市の救急医療に貢献できるよう尽力いたしますのでよろしくお願いします。

救急科 古庄 喬穂 医師



初めてまして、耳鼻咽喉科の橋本と申します。精一杯頑張ります。よろしくお願いします。

耳鼻咽喉科 橋本 鑿 医師

## 市民公開講座

### 「市民公開講座を6月より再開しています」

11月

#### 冬到来！インフルエンザ、コロナ感染対策

感染管理認定看護師

1月

#### ご存じですか!? CTとMRIのちがい

放射線部

3月

#### 介護の入口、介護保険について 等

連携室

5月

#### 医療とお金の話、マイナンバーカードについて等

医療事務

12月

#### ピロリ菌、肛門疾患について

医局(原医師)

2月

#### 誰でもなり得る認知症、皆で助け合いましょう!

認知症看護認定看護師

4月

#### 透析療法について

臨床工学科

心身ともに健康に!! いろいろな予防から治療までお役立ち情報を発信しています  
皆さんご自由に参加ください

皆さんの  
わからないに  
お答えします



JCHOの使命である「地域医療・地域包括ケアの要として、超高齢社会における地域住民の多様なニーズに応え、地域住民の生活を支える」ことの実現に向けて、コロナ感染症で休止していた市民公開講座を6月より再開いたしました。まずは外来通院中の患者さんとご家族を対象に、身近な健康課題や生活習慣の予防、介護や福祉など、地域で安心して暮らすために役立つテーマを取り上げています。医師や薬剤師、理学療法士、看護師などの専門職や事務職員も講師として参加し、わかりやすくお伝えしています。

### 第8回なんかいい南海健康まつりミニ

なんかよっかし  
入場無料  
予約不要  
です



南海医療センター  
キャラクター

新病院になり、コロナ禍を経てはじめての「なんかいい南海健康まつり」  
皆様の参加をお待ちしています。

開催日

2025年  
**11月12日(水)**  
14時～16時30分まで

場所

南海医療センター1階  
健康管理センター

問合せ

南海医療センター  
電話22-0547(代)  
URL:<http://nankai.jcho.go.jp>

当院医師による  
**健康講座**

外科▶「血便」について 泌尿器科▶排尿障害  
消化器内科▶ピロリ菌について  
耳鼻科▶難聴・補聴器について(各15分程度)  
14:30～15:30 \*内容に変更あるときがあります。

測定  
コーナー

・血圧測定・身長・体重・血糖・ベジチェック・認知機能  
・栄養相談(味噌汁の塩分測定)・お薬相談など

体験  
コーナー

腹腔鏡でつかんでみよう!  
(手術を疑似体験?)